

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 4
開講期間 / Class period	2016/04/06 ~ 2016/07/26		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20160587051701	科目番号 / Subject code	05870517
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	脳と心 (脳科学から探る人間性) / Exploring Humanity in the Light of Brain Science		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	森 望 / Mori Nozomu		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	森 望 / Mori Nozomu		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	森 望 / Mori Nozomu		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟12 / RoomA-12		
対象学生 (クラス等) / Object Student	医歯工環 2年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	morinosm@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	医学部・神経形態(第一解剖)		
担当教員TEL/Tel	095-819-7017 直通 095-819-7019 受付		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日 17:00 ~ 19:00		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	このモジュールでは脳科学の視点から人間性というものを考え、理解することをめざします。大学を出れば社会人になる。それは自動的に大人になる、ということなのだろうか？たぶんそうではないでしょう。そもそも「大人」とは、「人間」とは何なのか？その元にあるのは人間性でしょう。「人間性」はどこにあるのか？それは大人として成長する脳の中に育まれるものです。「脳」を理解し「人間性」の育みをしっかりと意識して生きる必要があります。では「意識」とは何か？それを意識することも大事です。人間の脳は地球上での生命の進化史上、最大の進化産物です。そこから「知性」が生まれた。でもそれはもう単なる知性ではない。「社会性」「精神性」をも育む組織器官。そして自分なりの「視座・ビジョン」を生み出す器官でもあります。「脳」はある意味では単なるニューロンの塊という物質なのですが、そのような物質の塊から「心」が生まれる。脳によって世界を見、心をもって人に接する。この講義は「ブレイン・ビジョン・マインド」のモジュール教育の基礎となる「ブレイン」を学びます。ブレインを理解し、ビジョンを獲得し、マインドを育む。人間性の根源を脳科学から考えていきます。		
授業到達目標/Goal	しっかりと物事を見ることが大事です。自分なりの視点があることも大切です。昨今はよくコミュニケーション能力の必要性が強調されますが、それ以前にしっかりと自分がなければなりません。口先だけ雄弁でも、中身がなければ価値がないのです。自己意識をしっかりともち、自分とはいったい何なのか？人間とは何か？自分と他者はどう違うのか？同じなのか？人間を理解するためには、まず脳を理解することが重要です。脳科学の視点から自分を考える、他人を思いやる。そして、また一歩深く自分を理解する。大人への階段を登る。そのためには、脳を掘り下げて考えてみるのが大事です。脳を理解し、自分を理解し、人間性とはいったい何なのか、深く考えてゆきます。「未来の自分をみつめる視座がはっきりとしてくる」そうしたらゴールはもうすぐそこです。		
授業方法 (学習指導法) /Method	講義および総合討論、レポート		
授業内容/Class outline/Con	いわゆる「知情意」。私たちの脳はそれを感じる。それを生み出す。しかし、他の動物と違ってさらに「真善美」をも解する。そこにこそ人間性の原点がある。無論、言語獲得も必要だったろう。地球上の生物進化の果てに私たちの脳があり、社会をつくり、人間関係を育んできた。脳の構造と機能性から私たちの心や人間の派生のしくみを考えていく。すると「自分」がきっと変わるはず。講義中心で進めますが、受講者からのあるいは受講者間での啓発的な議論がわかあがることを期待しています。講義の具体的内容は「授業計画」に記したとおりです。		
キーワード/Key word	脳、心、人間性、脳科学、神経科学 ブレイン、マインド、ヒューマニティー、ブレインサイエンス、ニューロサイエンス		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	ブレインブック THE BRAIN BOOK みえる脳 養老孟司 (監修) (南江堂) (2012) 心を生み出す脳のシステム: 「私」というミステリー 茂木健一郎 (NHKブックス 931) (2001) 唯脳論 養老孟司 (ちくま学芸文庫) (1998) 人間であること 時実利彦 (岩波新書746) (1970) サイエンティストになるには 生田哲 (ペリかん社/なるにはブックス77) (1994)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	期末試験を重視するが、レポート、授業への参加姿勢を総合評価する		
受講要件 (履修条件) /Requirements			
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		

備考 ( URL ) /Remarks(URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	我思う故に吾あり
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1回/4/12	1.脳脳学 脳ありてこそ悩める：考えること、悩むことの大切さについて
2回/4/19	2.ヒト 人間になること
3回/4/26	3.生命 生きるということ
4回/5/10	4.進化 物質進化と生命、人間の進化と心の進化
5回/5/17	5.脳 ニューロン、神経回路、大脳辺縁系、脳化社会と社会脳
6回/5/24	6.意識 意識と無意識、認知と認識、時間認識と未来予測、大脳新皮質
7回/5/31	7.言語 言語と脳情報、文字情報と文明、右脳と左脳
8回/6/7	8.発達 発達脳：臨界期と可塑性、心の理論、自我と自己、利己的な脳
9回/6/14	9.成熟 成人脳：成熟と恒常性、自己と他者、利己と利他、社会脳
10回/6/21	10.老化 老化脳：神経変性と神経細胞死、老化と寿命、老いと円熟
11回/6/28	11.感性 喜怒哀楽：感動と共感、想像と創造
12回/7/5	12.知性 知・情・意：脳と自己意識
13回/7/12	13.真実 真・善・美：脳と創造性
14回/7/19	14.本質 真・信・心：脳と真理
15回/7/26	15.人間性 ヒューマニティー：人間であること

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 3
開講期間 / Class period	2016/09/30 ~ 2017/01/30		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20160587051901	科目番号 / Subject code	05870519
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	脳と心 (映画から学ぶライフサイクルとメンタルヘルス) / What movies can teach us about life cycle and mental health.		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	黒滝 直弘 / Kurotaki Naohiro		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	黒滝 直弘 / Kurotaki Naohiro		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	黒滝 直弘 / Kurotaki Naohiro		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟43 / RoomA-43		
対象学生(クラス等) / Object Student	工学部, 環境科学部		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address			
担当教員研究室 / Laboratory	医学部 精神神経科		
担当教員TEL / Tel	095-819-7293		
担当教員オフィスアワー / Office hours	月水木 12-13時		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	自分を取り巻くライフサイクルとメンタルヘルスの実状をまづきちんと把握し、受講者がこれからの経済活動や現代の市民としての生活などで役に立つ知識を習得してもらうことを目標としたい。		
授業到達目標 / Goal	毎回のテーマは生活の中で起きうる具体的な問題であり、心理学・精神医学(必要であれば、人文科学・社会科学の知識)を通して、自分で的確に把握できるようになる。そして得られた知識を、まだ知らない人に対しても正しくプレゼンテーション可能なようになることを通じて、社会に貢献できる「新しい人。」(大江健三郎)になるためのメンタル・リテラシーを身につける。		
授業方法(学習指導法) / Method	講義プレゼンテーション資料の配布、必要に応じて映像資料をもとに展開する。また、グループディスカッションを積極的に取り入れ、学生の発言の場を充実させる。各回終了ごとには、講義内容に基づく出題課題への議論をもとにレポートを提出してもらい、自己の意見を練り上げる過程で理解を深める。		
授業内容 / Class outline / Con	脳機能、GD(GID)、発達障害、生命倫理(ホスピス)、気分障害、統合失調症、アルコール・薬物依存症、PTSD、記憶障害、認知症、双極性障害、知性発達、人格障害など		
キーワード / Key word	精神医学、精神疾患、メンタルヘルス、アンチスティグマ		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	「シネマサイキアトリー～映画からみる精神医学～」(小澤寛樹監訳、中外医学社) 「標準精神医学・第5版」(野村総一郎他編、医学書院)		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	講義後に提出するレポート: 50% 講義中のディスカッションへの参加態度(意欲点): 50%		
受講要件(履修条件) / Requirements	本シラバスは今後変更される可能性があるため、受講予定者は履修登録時に再度本シラバスの内容を確認し、受講の有無を決定すること。		
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	自分には関係ないと思いがちな心の病気……。実は誰にでもなりうる可能性がある、身近なものなのです。 この授業では、そんな心の病気に触れた映画を視聴し、メンタルヘルスについて学んでいきます。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	統合失調症の実際 映画: 「ビューティフル・マインド」		
第2回	上手なお酒との付き合い方～依存症って怖い～ 映画: 「酔いがさめたら、うちに帰ろう」		
第3回	生きにくいと感じるあなたへ～コミュニケーションとは何か～		
第4回	偏見とは何か 映画: 「砂の器」		
第5回	アップダウンの激しい人たち～双極性障害の話～ 映画: 「心のままに」		
第6回	私は男、それとも女?～ジェンダーを捉える視角 映画: 「ボーイズ・ドント・クライ」		

第7回	抑うつとは何か～気分障害について～ 映画：「砂と霧の家」
第8回	小さい時に受けた心の傷の話～PTSDを癒すために～ 映画：NHK「いのちの生老病死の未来」
第9回	私たちの持つ記憶の本体とは何なのか？ 映画「メメント」
第10回	誰かが君に恋してる～恋愛現象の脳科学～ 映画：「いま、会いに行きます」
第11回	親がボケた時、あなたはどうしますか～認知症の基礎知識～ 映画：「明日の記憶」
第12回	自己チューな人たち～人格障害を考える～ 映画：「ローズ」
第13回	知性とは何か？～ヒトの知性の発達と精神疾患との関係～ 映画：「レインマン」
第14回	子どもが普通とは違う苦悩～発達障害について～ 映画：「アイ・アム・サム」
第15回	まとめ

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 4
開講期間 / Class period	2016/04/06 ~ 2016/07/25		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20160587052101	科目番号 / Subject code	05870521
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	脳と心 (視覚の発生、ロービジョンケア) / Visual Science and Low-vision Care		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	北岡 隆 / Kitaoka Takashi, 森 望 / Mori Nozomu		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	北岡 隆 / Kitaoka Takashi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	北岡 隆 / Kitaoka Takashi		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育C棟16 / RoomC-16		
対象学生 (クラス等) / Object Student	医歯工環 2年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	tkitaoka@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	医歯薬学総合研究科眼科・視覚科学分野		
担当教員TEL/Tel	北岡隆、藤川亜月茶、上松聖典、築城英子、松本牧子		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日 17:00-19:00		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	外界からの情報の80%以上は視覚を通して認識される。その重要な視覚を司る眼球の構造を理解し、視覚を脅かす代表的な疾患について学ぶ。さらに標準的な色覚とそのバリエーションについて理解し、ロービジョンケアの初歩を実践する。さらにアイバンク、盲学校についても学ぶ。		
授業到達目標/Goal	視覚を司る眼の構造の概略を説明できる。代表的な眼の病気について理解している。色覚の発生が説明でき、色覚のダイバーシティについて理解できる。ロービジョンケアの初歩を実践できる。		
授業方法 (学習指導法) / Method	オムニバス形式の講義と問題を提議し考えさせる。		
授業内容/Class outline/Con	眼球の構造、コンタクトレンズ、人工臓器、再生医療、ロービジョンおよびロービジョンケア、アイバンクと角膜移植等について学ぶ。		
キーワード/Key word	視覚、アイバンク、ロービジョンケア、色覚		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書はない。講義資料を配付。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	出席とレポートにより評価する。		
受講要件 (履修条件) / Requirements			
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	外界の情報のほとんどを得る手段である視覚の重要性について学び、視覚、色覚等の多様性を理解してほしい。またロービジョンのヒトに対するケアに積極的に関わってほしい。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
1回/4/11	視覚を司る眼球の構造ーその1-		
2回/4/18	視覚を司る眼球の構造ーその2-		
3回/4/25	角膜はどうして透明なのか? コンタクトレンズは使って良いの?		
4回/5/2	近視の矯正にレーザーを使ったり、手術をしたりして良いの?		
5回/5/9	角膜移植とは?		
6回/5/16	アイバンクって何?		
7回/5/23	近視、遠視、乱視とは? 近視は老眼になりにくい?		
8回/5/30	水晶体の働き、眼の中に入っている水は何?		
9回/6/6	水晶体の代わりに人口のレンズを入れられるのか?		
10回/6/13	糖尿病と眼の関係は?		
11回/6/20	高血圧と眼の関係は?		
12回/6/27	眼の病気に治療するときどんな治療があるの? 点眼? 注射?		
13回/7/4	色覚の話とその異常		

14回/7/11	ロービジョンケア
15回/7/25	眼球と視覚の発達、盲学校について